

事業所名 グループホーム雅

## 運営推進会議開催報告書

開催予定日時 2024年11月15日(金)	
参加者	議題
利用者 0名	1 利用者様状況報告
利用者家族 1名	2 行事報告
地域住民の代表者 1名	3 身体拘束適正化検討委員会
市職員 1名	4 高齢者虐待防止検討委員会
地域包括支援センター職員 2名	5 質疑応答
事業所 3名	6 次回開催予定日
会議録	
1	<p><b>利用者様状況報告</b></p> <p>男性1名、女性8名の計9名様が入居しています。          最年長：女性101歳 最年少：女性81歳          平均年齢 89.5歳</p> <p>要介護度          要支援2…0名 要介護1…0名 要介護2…3名 要介護3…4名          要介護4…2名 要介護5…0名          平均要介護度 2.8</p>
2	<p><b>行事報告</b></p> <p>10月8日…焼き芋          施設で育てたさつま芋で炭を使い焼き芋を行いました。昼食にお好み焼きも行い召し上がって頂きました。</p> <p>10月23日…利用者様2名の誕生日会          職員からの色紙と手作りケーキでお祝いをいたしました。</p> <p>・予定行事          11月…22日、利用者様2名の誕生日会、岩谷堂へ紅葉狩り          12月…クリスマス会</p>
3	<p><b>第40回 身体拘束適正化検討委員会</b>…かきむしり、弄便、不潔行為による身体拘束を行わない介護</p> <p>1. 弄便、不潔行為とは          2. 身体拘束に当たる行為          3. 身体拘束がもたらす弊害</p>

4. 身体拘束を行わないで対応するには
5. かきむしりの対応と対策
- 6.まとめ

#### ④ 第2回 高齢者虐待防止検討委員会「高齢者虐待について」

1. 高齢者虐待とは
2. 高齢者虐待の種類
3. 被虐待者と虐待者との関係
4. 虐待と認知症との関係
5. まとめ

#### 質疑応答

身体拘束適正化における講話を聞き、特に弄便行為への対応は大変だろうなあと想像した。

(利用者様ご家族)

→利用者様により排便にはそれぞれのペースがあります。コーヒー後、起床後など。排泄チェック表からそれぞれの排泄リズムを把握し、できる限りトイレで排泄できるよう支援することで弄便行為を防いでいます。

おむつ内に排便がある利用者様への対応について、排泄支援は定時に行っているのですか

(水野地域包括支援センター様)

→基本的には利用者様それぞれのペースや、やり方に合わせて支援しています。尿意や便意のある方はそれぞれのタイミングでトイレに行き排泄していただきます。下剤等の薬を服薬しているときなどは特に注意が必要で、申し送りで確認し、こまめにチェックをしています。下剤は朝服用することを基本としてできるだけ下剤による便が日中になるよう調整をしていますが、人により効き目やその時の調子により全く変わったりするため、会議などで話し合い、また往診医に相談したりして夜間安眠できるよう服薬コントロールを行っています。

新人職員に対して認知症の教育はどのようにしているか (水野包括支援センター様)

→新しく入る職員に対しては全員に対してオリエンテーションを行っています。「認知症」「感染症」「身体拘束」などそれぞれについての資料を渡し、指導してから業務に入ってもらっています。

拒否がある利用者様に対しては、拒否の理由を聞くことが大切という講話があったが、認知症により意思を伝えることが難しい利用者様の場合はどうしているか。(瀬戸市役所高齢者福祉課様)

→なぜそのような行動をするのか想像することが大切だと思います。例えばなぜ食べないのかということについて、飲み込みにくいのか、口当たりが嫌なのか、など。刻んだり柔らかくしたり食器を変えたりしていろいろ試してみます。一人の職員の意見ではなく、全職員からそれぞれの意見を聞くことも大切です。雅ではパット一つ使う際にもご家族様、本人、職員皆で検討に検討を重ねてから開始するようにしています。

⑤ 次回開催予定日 2025年1月17日(金) 14:00～